

教育研究所だより



No.247 令和8年6月 【発行者】守山市教育研究所 所長 田中 滋規

AIにできない、私たちにしかできないこと ～子どもと向き合う、もう一つのステップ～
守山市教育委員会教育長 辻本長一

生成AIはなぜこれほどまでに子どもたちにとって身近な存在となったのでしょうか。それは、AIが瞬時に「答え」を提示してくれ、悩んでいる自分に対し、肯定的な共感を示してくれる安心感があるからではないでしょうか。その点においては、私たち教職員もAIから学ぶべき点があります。子どもたちにとって、「この先生になら思い切って相談できる」という存在であり続けるために、対話の姿勢や共感のスキルを磨き続ける必要があるでしょう。

ただ、AIはある意味「正解」を教えてくださいますが、学校園という場所は、それとは異なる価値をも提供し続ける場です。私たちは、子どもたちが遊びや生活の中で「試行錯誤や失敗を重ねながら、自ら答えを見出していく過程」を大切に、「答えのない問い」に粘り強く向き合う時間を提供し続けなければなりません。そのような学びのしくみを整え、子どもたちに寄り添い、伴走するのが、私たち教職員の使命です。

子どもの表情や様子を観察し、今、何がしんどくて、何に悩んでいるのか。あるいは言葉にならない思いや小さな変化をいち早く察知して、愛情をもって話を聞くこと。それはAIにはできない、教職員だからこそ成せる働きかけです。AIも相談相手にはなりますが、学級集団という複雑な環境を総合的に俯瞰し、客観的に課題を捉えて、個々の子どもにとってその時々に必要な助言ができるのは、すぐそばにいる皆さんです。さらには、保護者等と連携しながら解決への方策を考え、関係者全体で見守り支えていくこと。こうした人間味あふれる「環境デザイン」こそが、教育の要です。

学びの場において、私たちは子どもたちの素朴な「なぜ？ どうして？」という問いから好奇心を引き出し、それを深めることができます。すぐに答えを教えるのではなく、思考を深めるための場や学びをふりかえる機会を適切に設けることによって、自力解決の力を高めることができます。適切な助言は不可欠ですが、この「あえて教えない（待つ）」考えさせるプロセスこそが、子どもたちに必要な力を育む鍵となります。AIが「答え」を容易に提示できる時代だからこそ、子どもたちには、「主体的に答えを追求し、修正しながら、より良いものを創造し続ける力」をつけなければなりません。具体的には、以下のとおりです。

☆自分の強みや弱みを理解し、自らの感情や行動を調整しつつ、主体的に目標に向けて行動する力

☆困難に直面しても試行錯誤し、粘り強く取り組む力

☆地域社会の一員として、他者との関係性を大切にしながら、自らの役割を自覚し、責任感をもって豊かな生活を送ろうとする力

また、これらの力を支える土台として、その時々に関心と向き合い、他者との関係性の中で適切に判断しようとする「豊かでしなやかな心」を育むことが求められます。

AIは進化し続けていますが、皆さんがこれまで培ってきたカウンセリングマインドや子どもを想う愛情、そして温かい学校園風土は、何ものにも代えがたい教育資産です。そして、皆さんの日々の実践には、教育者としての確固たる矜持が宿っていることでしょう。日々の試行錯誤の中で皆さんが感じている葛藤やこだわりこそが、子どもたちの確かな成長の礎となることを確信しています。

令和8年度の研修について



当研究所では、キャリアステージに応じた研修を企画しております。今年度も自分の日々の実践を振り返ったり、他者の実践から学んだりといった「現場の経験」を重視したスタイルの学びや参加者自らが「主語」となる研修方法を取り入れ、先生方の資質向上を目指していきます。

キャリアステージに応じた研修

☆全ステージ対象

【教師力・人間力の向上を目指し、人間の成長・発達についての深い理解や教師の基盤となる研修】

○教師力・人間力向上研修講座

☆実践力形成ステージ対象（若手教員におすすめ）

【具体的な事例をもとに、先輩教員等から実践事例を学ぶ研修】

○生徒指導・教育相談研修講座

○コミュニケーション力育成研修

○授業力向上研修講座

○特別支援教育研修講座

☆発展・深化ステージ（中堅・ベテラン教員におすすめ）

【教科指導力や生徒指導力などを専門的な見地から学び、知識を深める研修】

○生徒指導・教育相談研修講座

○授業力向上研修講座

○特別支援教育研修講座

○学校マネジメント研修講座



指定研修

☆初任者研修（全4回）

☆中堅者資質向上研修

☆ステップアップ（講師1・2年目）研修（全4回）

☆2年次研修（全2回）

☆ボトムアップ（初年度2校目）研修（全4回）



※今年度も魅力ある研修を計画いたします。研修への参加をよろしくお願いいたします。

本年度のおすすめ講座

本年度、特におすすめする講座を紹介します!!



○7月21日（火）10:00～

講師：安岡 寛 様（淡海言の葉教育研究所 代表）

講座名：子どものやる気を引き出す言葉がけとは～やってみよう ペップトーク～

講座内容：子どもを励ますつもり言葉が、やる気を萎えさせてしまう結果になったことはありませんか？日頃言葉がけに使えるよう、ペップトークについて学びます。

○7月24日（金）13:30～

講師：山下 完和 様（やまなみ工房 施設長）

講座名：全ては幸せを感じるために ～やまなみ物語～

講座内容：やまなみ工房は1986年滋賀県甲賀市において開設され、現在は95名が通所する障害者施設です。やまなみ工房では障害のあるアーティスト一人ひとりがそれぞれの方法で表現活動に取り組み、日々個性あふれる作品が生まれています。また、制作された作品はこれまで国内外の様々な分野において高く評価され、日本を代表する作家を多く輩出し、幅広いアートワークを展開し世界に発信しています。障害って何？僕の色、私の形、個性あふれる日常の中で生まれたそれぞれの幸せについてお話しいたします。

令和8年度の研究について



教育に関する調査研究

★テーマ 協働的に学び続ける教員集団を実現するための方策

～同僚性アンケートを活用した実践から～

○目標：アンケート調査を実施し、その結果分析から学校の現状を見える化し、明らかになった学校独自の課題についての方策を構想、実践することにより、「協働的に学び続ける教員集団」の実現を目指します。この「協働的に学び続ける教員集団」形成は、児童生徒が安心して過ごせる学校環境につながると考えます。



指導力向上に関する研究

★テーマ ICTを活用した個別最適な学び～主体的に学びを進める子どもをめざして～

○目標：ICTを活用し、個別最適な学びを充実させることで、一人一人の児童生徒が自ら学習課題に応じた情報や学び方を選択し、判断しながら学習を進める力の育成を目指します。

※今年度も、教育研究所の研究にご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

ごあいさつ

守山市教育研究所長 田中滋規



今年度より教育研究所、所長に就任しました田中滋規です。私は教育現場の出身ですが、これまで市のスポーツや文化の振興に長く携わり、さまざまな立場の方々と関わってきました。そうした経験も生かしながら、本研究所の取組をより身近で役立つものにしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本研究所では今年度も市内の先生方のキャリアや関心に応じて、年間 30 を超える研修・講座を予定しています。どの研修も、日々の実践に生かしていただけるよう工夫していますが、中にはすぐに成果が見えにくいものもあるかもしれません。

私自身、若い頃は、明日の授業や子どもの指導にすぐ役立つことばかりを求めていた時期がありました。そんな時先輩から「先生、指導書（赤本）ばかり見ているけど、学習指導要領を読んでいるか？学習指導要領には、今の子どもたちにどんな力を身に付けさせるのか、その方向性がしっかり示されている。それを大切に考えて授業をつくるのが大事だ。その場しのぎの授業案のヒントばかり探してはいけない。」と教えられました。この言葉は、今でも心に残っています。

今は、授業づくりや生徒指導のヒントを AI から得ることもできる時代です。だからこそ本研究所では、単なる“その場しのぎ”ではない、子どもたちの未来を見据えた教育について、先生方とともに考えていきたいと思っています。

研修が先生方にとって新たな気づきや学びにつながれば幸いです。また、日々の実践の中での悩みや相談も、どうぞお気軽にお寄せください。心よりお待ちしております。

<令和8年度 教育研究所 職員 >

所長 田中 滋規

係長 正江 茂文

研究員 山中 豪

よろしくお願いいたします！